

I. 病院に関する基本情報

問1. 所在地 を教えてください

1. 下越（村上・関川・胎内・新発田・聖籠）
2. 新潟（新潟・阿賀野・阿賀・五泉）
3. 県央（田上・加茂・燕・弥彦・三条）
4. 中越（見附・長岡・出雲崎・刈羽・柏崎・小千谷）
5. 魚沼（魚沼・南魚沼・湯沢・十日町・津南）
6. 上越（上越・妙高・糸魚川）

問2. 施設種別 を教えてください

1. 特定機能病院
2. 地域医療支援病院
3. 精神病院(精神科病棟のみを有する病院)
4. 一般病院
5. その他（ ）

問3. 許可病床数を教えてください

1. 49床以下
2. 50～99床
3. 100～199床
4. 200～399床
5. 400床以上

問4. 令和6年4月時点で、貴施設において診療報酬で算定している補助者に関する加算を記入してください。

例) 25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割以上）看護補助体制充実加算1

II. 看護補助者の位置づけと人数について

問5. 貴院では看護補助者を雇用・活用していますか

1. 雇用・活用している
2. 雇用・活用していない→問14にお進みそれ以降もご回答ください。

問6. 貴病院では看護補助者をどのような雇用形態で活用していますか？(いくつでも)

1. 正規職員として直接雇用
2. 非正規職員(パート、アルバイト、非常勤嘱託などの非常勤職員)として直接雇用
3. 派遣職員
4. 看護補助業務を業務委託

問7. 貴病院では、看護補助者は組織上どの部署に位置づけられていますか？

1. 看護部門内の病棟等
2. 看護部門内の看護補助者だけの部署
3. 看護部門とは異なる看護補助者だけの部門
4. その他()

問8. 貴病院における看護補助者(無資格者)の職名を教えてください。

1. 看護助手
2. 看護アシスタント
3. ナースエイド
4. ケアワーカー
5. その他(具体的にご記入ください)

問9. 看護補助者をどのような勤務形態で活用していますか。(一部でも夜勤・休日・早出・遅出勤務に従事する場合でもすべてチェックしてください)

- 1.日勤
- 2.短時間勤務者
- 3.夜勤従事者
- 4.休日勤務従事者
- 5.早出従事者
- 6.遅出勤務従事者

問10. 病院で直接雇用(正規)している看護補助者の実人数をご記入ください。該当する看護補助者がいない場合には「0」を記入してください。

()人

問 11. 病院で直接雇用（非正規）している看護補助者の実人数をご記入ください。該当する看護補助者がいない場合には「0」を記入してください。

（ ）人

問 12. 派遣職員の看護補助者の実人数をご記入ください。該当する看護補助者がいない場合には「0」を記入してください。

（ ）人

問 13. 貴病院において、看護補助者は充足していますか？

1. 十分充足している
2. まあ充足している
3. やや不足している
4. 非常に不足している

問 14. 貴病院における看護補助者の確保について、今後の方針を教えてください。

1. 増やす
2. 現状維持 → 問 17 へ進みそれ以降もお答えください
3. 減らす → 問 18 へ進みそれ以降もお答えください
4. 今後とも看護補助者は活用しない → 質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

問 15. あと何人増やしたいですか（実人数で記入ください）

（ ）人

問 16. 貴病院ではどのような雇用・就労形態で看護補助者を増やしたいと考えていますか？

（いくつでも）

1. 正規職員（直接雇用）を増やしたい
2. 非正規職員（直接雇用）として通常の労働時間勤務できる職員を増やしたい
3. 非正規職員（直接雇用）として短時間でスポット的に働く職員を増やしたい
4. 派遣職員を増やしたい
5. 業務委託を増やしたい

問 17. 貴病院が看護補助者を活用する理由を教えてください。(三つまで)

1. ケア充実のため提供する看護量を増やしたい
2. 看護職の業務を効率化し、専門性の向上を図りたい
3. 看護職の休暇取得や残業軽減を図りたい
4. 看護職不足のため看護補助者を活用せざるを得ない
5. 看護補助者を増やして看護職数を必要最小限に抑えたい
6. 医療資格を持たない人がチームに入ることによって、患者の理解が深まる
7. 地域住民が看護補助者として病院に入ることによって住民の医療理解につながる
8. その他 ()

問 18. 貴病院では、どのような人材を看護補助者として採用したいと考えていますか (三つまで)

1. 介護職員研修修了者
2. 介護福祉士
3. 看護補助者対象の研修を何らかのかたちで受けたことがある人
4. 介護・福祉分野で仕事をしたことがある人
5. 医療分野で仕事をしたことがある人
6. 人の世話をすることに向いている人
7. 資格、経験は問わない
8. その他 ()

—看護補助者を活用していない病院はここで質問終了です。ご協力ありがとうございました。—

III. 看護補助者の採用・労務管理について

問 19. 看護補助者の主な採用ルートに○をつけてください。(いくつでも)

1. ハローワーク
2. 有料職業紹介所
3. 派遣会社
4. 求人広告 (民間求人サイト・SNS)
5. 求人広告 (フリーペーパー・タウンペーパー)
6. 求人広告 (折込チラシ)
7. 求人広告 (新聞)

8. 病院のホームページ
9. 病院内に掲示した募集ポスター
10. 知人の紹介
11. その他 ()

問 20. 看護補助者確保のため有料職業紹介所を活用している場合、その年間経費をご記入ください。令和5年度に支払った総額（見込み）

有料職業紹介所を活用していない場合は、「0」を記入ください。

() 万円)

問 21. 看護補助者確保のため派遣会社を活用している場合、その年間経費をご記入ください。

令和5年度に支払った総額（見込み）

派遣会社を活用していない場合は、「0」を記入ください。

() 万円)

IV. 看護補助者の役割・研修について

問 22. 貴病院では、看護補助者の業務範囲の中で、介護福祉士等の資格を有する者と無資格の看護補助者とで業務内容を分けていますか？

1. 分けている
2. 分けていない
3. 介護福祉士等はいない

問 23. 貴病院における現在の看護補助者の業務内容に○をつけてください

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 病床及び病床周辺の清掃・整頓
2. 病室環境の調性（温度、湿度、採光、換気など）
3. シーツ交換やベッドメイキング
4. リネンの管理
5. 処置・検査等の伝票類の準備・整備
6. 診療に必要な書類の整備、補充
7. 入退院・転出入に関する業務（書類や請求書等の配付、回収、作成など）
8. 薬剤の搬送（運搬）
9. 検体・レントゲンフィルムの搬送

10. 診察に必要な機器・器具等の準備、片付け
11. 診療材料の補充・整理
12. 食事介助
13. 配膳・下膳
14. 口腔ケア
15. 身体の清潔に関する業務
16. 寝衣交換
17. おむつ交換
18. トイレ介助
19. 膀胱内留置カテーテルのバッグにたまった尿の廃棄
20. 安全・安楽に関する業務（体位変換など）
21. 患者の移動・移送
22. 見守り

問 24. 貴病院の看護補助者の業務で、現在は実施していないが今後活用したいと考えている業務内容に○をつけてください（あてはまるものすべてに○をつけてください）

1. 病床及び病床周辺の清掃・整頓
2. 病室環境の調性（温度、湿度、採光、換気など）
3. シーツ交換やベッドメイキング
4. リネンの管理
5. 処置・検査等の伝票類の準備・整備
6. 診療に必要な書類の整備、補充
7. 入退院・転出入に関する業務（書類や請求書等の配付、回収、作成など）
8. 薬剤の搬送（運搬）
9. 検体・レントゲンフィルムの搬送
10. 診察に必要な機器・器具等の準備、片付け
11. 診療材料の補充・整理
12. 食事介助
13. 配膳・下膳
14. 口腔ケア
15. 身体の清潔に関する業務
16. 寝衣交換
17. おむつ交換
18. トイレ介助
19. 膀胱内留置カテーテルのバッグにたまった尿の廃棄
20. 安全・安楽に関する業務（体位変換など）
21. 患者の移動・移送

- 22. 見守り
- 23. 特になし

問 25. 上記以外の業務で看護補助者を活用している業務がありましたら、ご記入ください。

()

問 26. 貴病院において、看護補助者の活用を進める上で課題となっていることに○をつけてください。(二つまで)

- 1. 看護補助者数の確保
- 2. 看護補助者の能力・適性
- 3. 看護職と看護補助者の明確な業務区分
- 4. 看護職の看護補助者への的確な指示・業務委譲
- 5. 看護職と看護補助者とのチームワーク
- 6. 看護補助者の有効な活用に関する病棟師長等の理解
- 7. 看護補助者活用に関する病院方針の明確化
- 8. その他 ()

問 27. 貴病院で実施している看護補助者に関する研修について教えてください。
(あてはまるもの全てに○)

- 1. 看護補助者を対象とした定期研修(年1回など)を実施している
- 2. 看護補助者を対象として年1回の定期研修以外に、部署配置前に研修を実施している
- 3. 看護補助者である正規職員と非正規職員に対し同じ研修を実施している
- 4. 短時間就労者を含め、すべての看護補助者に対し、研修を実施している
- 5. 看護師長を対象とした看護補助者との協働についての研修を実施している
- 6. 看護職を対象とした看護補助者との協働についての研修を実施している
- 7. チーム作りの為に看護職と看護補助者一緒に研修を実施している
- 8. その他 ()

問 28. 看護補助体制加算 1・2 の算定要件に該当する補助者の研修はどのように行っていますか (あてはまるものすべて)

1. 病院独自に企画し、随時行っている
2. 研修業者の e-ラーニングを利用している
3. 日看協のオンデマンド研修を利用している
4. 研修業者が企画する外部研修に参加している
5. その他 ()

問 29. 今後の看護補助者の育成についてどのように考えていますか? (二つまで)

1. 病院内の教育研修を充実し、育成したい
2. 病院内で看護職が看護補助者の実践を評価し、現任教育で育てたい
3. 看護職が看護補助者を上手に育成できるよう、看護職の研修を充実したい
4. 看護補助者対象の外部研修があれば活用して育成したい
5. 病院内で育成するのではなく、外部で育成された人材を採用したい
6. その他 ()

V. 看護補助者の確保・定着対策について

問 30. 看護補助者の確保が困難な理由をどのように考えていますか? (三つまで)

1. 給与が低い
2. 職業としての魅力が少ない
3. 補助者同士の人間関係に問題がある
4. 組織内での職種ヒエラルキーが低い
5. 勤務日・勤務時間の希望が通らない
6. 早出・夜勤がある
7. 他に魅力的な職場がある
8. 仕事内容が一般に知られていない (仕事がイメージできない)
9. 看護補助者の確保に困難を感じていない
10. その他 ()

問 31. 看護補助者の確保・定着で工夫していることにすべて○をつけてください。

1. 給与の充実
2. 福利厚生充実
3. 勤務日数を選べるようにする
4. 勤務時間帯を選べるようにする
5. 希望に沿った部署に配置する
6. 職場のハラスメント対策
7. 正規職員として雇用する
8. 看護補助者の業務内容を文書で明示する
9. 上司との面談の機会を設ける
10. 人事考課で能力を評価する
11. 看護補助者対象の教育・研修の充実
12. 資格を取れるように支援する
13. 看護職と看護補助者のチームワークのあり方を明確に示す
14. 看護職を対象とした看護補助者とのチームワークに関する教育・研修
15. 呼び名を工夫する（具体的にご記入ください）
16. ユニフォームを選べるようにする
17. その他（ ）

問 31. 最後に看護補助者に関することでご意見がございましたら、自由にご記入ください。

[]

ご協力ありがとうございました。